

第2学年 音楽科 学習構想案

I 単元構想

単元名	6, くりかえしを見つけよう (教材:「かねがなる」「おまつりの音楽」「トルコこうしんきょく」)		
単元の目標	(1)旋律やリズムの特徴とその反復などと曲想との関わりに気付き、声の出し方に気をつけて歌ったり反復を用いてリズムを作ったりする技能を身に付ける。 (2)旋律やリズムが反復するよさやおもしろさを生かして、歌い方やリズムの組み合わせ方について思いをもったり、それを基に曲全体を味わって聴いたりする。 (3)友だちの考えを聞きながら、旋律やリズムの反復に着目して表現したり音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組む。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①曲想と歌詞の表す情景や旋律の反復、強弱、音の重なりなどとの関わりに気付き、互いの歌声を聞きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②リズムとそのつなげ方の特徴に気付き、反復を用いてリズムを作る技能を身に付けてつくっている。 ③曲想と二つの旋律の特徴やその反復との関わりに気付いている。	①旋律やその反復を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方や強弱などを工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ②リズムが反復するよさや面白さを生かして、リズムのつなげ方を工夫し、どのような「おまつりの音楽」にするかについて思いをもっている。 ③旋律の反復や強弱の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、体を動かすなどして味わって聴いている。	①友だちの考えを聞きながら、曲想と旋律の反復との関わりに興味・関心を持って歌う学習に楽しんで取り組もうとしている。 ②リズムの反復に着目して音楽をつくる学習に、友達と協働しながら楽しんで取り組み、反復を用いて簡単な音楽をつくることへの興味・関心を広げようとしている。 ③挙手をしたり友達の考えを聞いたりしながら、旋律の反復と曲想との関わりを意識して音楽を聴く学習に、楽しんで取り組もうとしている。
単元終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)			
表現や鑑賞の学習を通して、音楽の仕組みの一つである「反復」が生み出す、旋律やリズムが繰り返される音楽の面白さに気付く児童。			
単元を通した学習課題(単元の中心的な学習課題)		本単元で働かせる見方・考え方	
繰り返しのよさや面白さを味わおう。		反復を音楽の仕組みの一つとして捉え、自己のイメージや感情などと関連づけること	
指導計画と評価計画(6時間取扱い、本時2/6)			
過程	時間	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	1	○「かねがなる」を旋律の音の動きやリズムに気を付け歌い、気付いたことや感じたことについて話し合う。 ○どのような声で歌うと鐘の音のように聞こえるか、声の出し方を工夫して歌う。 ○鐘の音の部分を反復する旋律と、歌の旋律を重ねて歌う。	【態①】演奏聴取、行動観察 ★【思・判・表①】演奏聴取、発言内容 ○旋律やその反復が生み出すよさや面白さを感じ取りながら、声の出し方や強弱などを工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。 ★【知・技①】演奏聴取、行動観察、発言内容 ○曲想と歌詞の表す情景や旋律の反復、強弱、音の重なりなどとの関わりに気付き、互いの歌声を聞きながら声を合わせて歌う技能を身に付けている。
二	3	○6種類のリズムカードを組み合わせて8拍のリズムをつくり、ペアにな	★【知・技②】リズムとそのつなげ方の特徴に気付き、反復を用いてリズムをつくる技能を身に

		<p>って紹介し合ったり、つなげて演奏したりして楽しむ。(本時)</p> <p>○グループごとに、各自が作ったリズムをつなげて、「おまつりの音楽」をつくる。</p> <p>○グループごとに、作ったリズムのよさや面白さを聴き合う。</p>	<p>付けてつくっている。</p> <p>★【思・判・表②】発言内容、演奏聴取</p> <p>○リズムが反復するよさや面白さを生かして、リズムのつなげ方を工夫し、どのような「おまつりの音楽」にするかについて思いをもっている。</p> <p>【態②】行動観察、発言内容</p>
三	2	<p>○二つの旋律の反復に気をつけて「トルコ行進曲」を聴く。</p> <p>○強弱の変化について気付いたことや、軍楽隊の様子で想像したことを話し合う。</p> <p>○音楽に合わせて体を動かしたり、軍楽隊の様子を想像したりしながら、曲全体を聴く。</p>	<p>★【態③】演奏聴取、行動観察</p> <p>○友達の考えを聞いたりしながら、旋律の反復と曲想との関わりを意識して音楽を聴く学習に、楽しんで取り組もうとしている。</p> <p>【知③】行動観察・発言内容</p> <p>★【思・判・表②】行動観察、発言内容</p> <p>○旋律の反復や強弱の変化とそれらが生み出すよさや面白さについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、体を動かすなどして味わっている。</p>

※ICTの効果的な活用について

- 「おまつりの音楽」のリズムカードを組み合わせて音楽をつくる活動で、プログラミングアプリを用いたデジタル教材を活用し、タブレットパソコンで音を聴いて確かめながら試行錯誤したり、タブレットパソコンで再生した音楽を手で打つ際の手本にしたりする。

2 本時の学習

(1) 目標

リズムが反復するよさや面白さを生かして、リズムのつなげ方を工夫し、音楽をつくることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図・内容・方法等)
あ	5分	<p>1 本時の見通しをもつ。</p> <p>①前時の学習を振り返る。 ◇繰り返しがたくさん出てきたな。</p> <p>②本時のめあてを確認する。</p> <p>【めあて】 くりかえしをつかって「おまつりの音楽」をつくろう。</p> <p>③6つのリズムを歌ったり、手拍子で打ったりする。</p> <p>④教科書の繰り返しのある例を歌ったり、手拍子で打ったりする。 ◇繰り返しがあつる方がまとまっている。 ◇繰り返しがあつる方が覚えやすいな。</p> <p>⑤リズムの作り方を確認する。</p> <p>⑥デジタル教材の使い方を知る。</p>	<p>○旋律の繰り返しに気をつけて歌つたことを振り返る。</p> <p>○カードを拡大して掲示し、全員でリズムを確認する。</p> <p>○教師がつくつた反復のないリズムと比較することで、反復を用いた方がまとまりのあるリズムになることに気付くようにする。</p> <p>○繰り返しを必ず入れることと、4枚のカードを使うことを確認する。</p> <p>○使い方を拡大掲示し、児童が活動中でも確認できるようにする。</p>
り さ	30分	<p>2 めあての達成に向けて活動する。</p> <p>①反復を用いて8拍のリズムをつくる。 ◇どのカードを繰り返そうかな。</p> <p>②つくつたリズムを歌つたり、手拍子で打つたりして確かめる。</p> <p>③ペアになつて、互いのリズムを紹介したり、つなげて演奏したりして楽しむ。 ◇リズムをつなげるともっと楽しい感じになつた。</p> <p>④ペアでつなげたリズムを全体で紹介する。</p> <p>【期待される学びの姿】 リズムが反復されるよさや面白さを生かして、つなげ方を工夫して、音楽をつくつている。</p>	<p>○どのような反復の仕方があるか考えながら、まとまりのあるリズムにするよう助言する。</p> <p>○タブレットパソコンでつくつたリズムを再生して、自分のイメージに合うリズムを考えるように促す。</p> <p>○タブレットパソコンで再生したリズムをお手本にするように助言する。</p> <p>【具体的評価規準】知・技② ○リズムとそのつなげ方の特徴に気付き、反復を用いてリズムをつくる技能を身に付けてつくつている。 (方法：観察、タブレットパソコン、演奏聴取)</p> <p>【到達していない児童への手立て】 ○繰り返しに使うリズムをどのカードにするか確かめ、他のリズムとどのように並べるか、個別に助言する。</p>
こ	10分	<p>3 めあてに対する振り返りをする。</p> <p>①振り返りカードを書く。</p> <p>②学習の感想を紹介し合う。 ◇繰り返しを使って楽しく音楽をつくることのできた。 ◇もっと友だちとつなげてみたい。</p>	<p>○カードでめあてが達成できたか確かめられるようにする。</p>